

第28号  
2011.7.15

美郷がいちばん、すきです美郷

# ふさと 議会だより

## 大きく育て、豊かに育て

町では、「七滝・水の森」をより豊かにするブナの植樹に取り組んでいます。

- 2 千屋小・御田小交流が3年連続で県事業に採択
- 3 「IRU方式」で82・83局をブロードバンド化

主な質疑	4
臨時会概要	5
一般質問	6
追跡レポート	9
活動報告	10
提出議案一覧	11
キラリ美郷人	12



千屋小児童が東京に到着

# 千屋小・御田小 交流が 3年連続で 県事業に採択

6月定例会を、6月7日から10日までの4日間の会期で開きました。審議した議案は、平成23年度一般会計補正予算など11議案。その全てを、全員賛成で原案のとおり可決しました。  
また、一般質問は3議員が登壇し町政をただしました。

**今** 定例会では、平成23年度一般会計の交流促進事業費から地域間交流会補助金10万円を減額し、新たに子ども双方向事業費補助金として153万円を補正しました。  
**こ** れは、昭和52年から34年連続している千屋小学校と港区・御田小学校の交流事業が、県が進めている子どもたちの都市や農山漁村での双方向交流事業「秋田発・子ども双方向交流プロジェクト事業」に3年連続で採択されたことによるもので、交流経費全額が県補助となりました。  
**今** 年度の交流は、7月22日から24日まで御田小学校児童が美郷町を訪れ、川遊びや野菜パーティーなどを体験します。また、8月5日から7日まで千屋小学校児童が港区を訪れ、御田地域めぐりや御田小学校の屋上プール交流などを体験します。  
**そ** の他の一般会計補正予算の主な内容は、光ファイバー網を整備する情報通信基盤整備事業費2億3261万円や学友館の展示室などの改修工事費4338万円などで、歳入・歳出それぞれに3億8787万円を追加し、一般会計予算総額を15億8988万円としました。また財産の取得では、簡易水道施設が停電時でも稼働できるよう、1785万円で6基の自家発電装置を取得しました。

総務省は「あらゆる場所、あらゆる人やモノがネットワークに接続され、高速大容量での通信ができる社会」を目指しています。が、現在、過疎化が進む地方では実現に至っていません。そこで美郷町では、ブロードバンド通信環境に地域格差が生じないように82・83局の仙南地域に「IRU方式」で光ファイバー整備事業を実施して、全町のブロードバンド化を目指します。

「IRU方式」とは、自治体が敷設し所有する光ファイバーを民間通信事業者に貸し出して料金を受け取り、設備の保守運用業務については民間通信

事業者は「あらゆる場所、あらゆる人やモノがネットワークに接続され、高速大容量での通信ができる社会」を目指しています。が、現在、過疎化が進む地方では実現に至っていません。そこで美郷町では、ブロードバンド通信環境の整備メリットは、住民生活の向上はもとより、定住促進や企業誘致などの好材料ともなります。また、例えばテレビ電話を利用した双方向でおこなう健康相談など、自治体サービスの充実も可能です。

ブロードバンド通信環境の整備メリットは、住民生活の向上はもとより、定住促進や企業誘致などの好材料ともなります。また、例えばテレビ電話を利用した双方向でおこなう健康相談など、自治体サービスの充実も可能です。

# 「IRU方式」で 82・83局を ブロード バンド化

事業者に料金を支払って委託する方式です。また、町に入る使用料と町が支払う維持管理費は同額程度と試算されています。

ブロードバンド化は、情報の道路づくりといわれています。しかし、せっかく整備しても使われない道路になっては意味がないでしょう。整備後の利活用が大切です。

\*ブロードバンド 光通信など、高速・大容量のデータ通信が実現するネットワークサービス。

仙南東小での授業風景



# 除雪トラック更新

6月10日定例会最終日、議案に対する質疑と採決が行われました。  
主な質疑を要約してお伝えします。

## 一般会計補正予算

**森元議員** 除雪トラック購入で325万円追加補正するが、その内容は。  
**建設課長** 震災の影響で当初見込んでいた額より高い実態が見込まれるためだ。  
**森元議員** 必ず購入しなければならぬのか。値上がり分も補助対象か。  
**建設課長** 補助対象になる除雪トラックは本機だけであり、計画どおり更新したい。値上がり分も補助対象だ。  
**森元議員** 機械リースの考えは。  
**建設課長** 除雪機械の補助率は3分の2で、リースは対象外なので、補助を活用した方が有利だ。



更新される除雪トラック

## 遊具の点検・修繕は

**武藤議員** 遊具は、日頃の点検・修繕が大事だが、今回数が多いのはなぜか。  
**教育施設課長** 点検は、毎年行っている。今回は、雪害・腐食による修繕が多いためだ。

## 財産の処分

### 経過と内容は

**熊谷（良）議員** 旧秋田県保健事業団跡地の処分の経過と内容は。また、バス車庫の出入りはどうするか。  
**総務課長** 事業団から無償譲渡された建物をこれまで貸付していた企業に、土地と駐車スペースをつけて売り渡す内容だ。スクールバス車庫は、通路を確保している。

## 国保会計補正予算

**熊谷（良）議員** 今回、税率改正をしない理由は。  
**福祉保健課長** 医療費は伸びているが、22年度に特別調整交付金4500万円が入り、繰越金が増えたためだ。

## 第4回臨時会（5月12日）

# 災害時の備えを強化

第4回臨時会が5月12日開催され、災害時に対応する備品・設備などの一般会計補正予算と、議員の報酬、特別職・一般職員の給与に関する条例改正を審議し原案どおり可決しました。  
一般会計の歳入・歳出それぞれに6410万円を追加し、総額を112億201万円としました。

## 備蓄はどれくらいか

**熊谷（良）議員** ガソリン・軽油の備蓄タンクは、どれくらいもつか。また、発電機だけでなく蓄電気方式も検討したか。

**総務課長** 5日から一週間の備蓄だ。蓄電は、現在それほど技術になっていない。



役場庁舎の自家発電装置

## 震災の被害調査は

**武藤議員** 震災被害の調査結果と対応は。  
**建設課長** 震災と併せて豪雪関係の被害も実態把握をしている。住民生活に支障のないよう、緊急度の高いものから順次整備していく。

## 給与改正

### 期末手当を引き下げ

**内容** 議員、町長・副町長、教育長、一般職員の期末手当をそれぞれ0・05月引き下げる条例改正です。

**中村（利）議員** 景気後退のため町民は苦しい生活をしている中、役場や議員はこの程度の引き下げでいいのかという声があるが。

**総務課長** 一般職員の給料については、人事院勧告や県内の実状に沿っての引き下げだ。

## 反対討論

**泉（美）議員** 一般職員の期末手当の引き下げは、民間労働者や地域経済に与える影響が大きいと考え反対する。

◆賛成14 反対3

## 住民と議会との懇談会 ～身近な議会を目指して～ 今年度も2回開催



善元寺会館にて

平成18年から続けている住民と議会との懇談会を、昨年同様今年度も2回開催する計画で、今年度最初の第7回懇談会を6月22・23・24日の3日間にわたり、町内9会場で開催いたしました。  
懇談会での内容や回答については、10月発行の議会だよりでお知らせいたします。  
また、第8回懇談会を今秋頃に予定しておりますので、たくさんのご参加をお待ちしております。

一般質問

避難勧告などの発令基準は町長「地域防災計画で定めている」

質問者

深澤 均 議員

泉 美和子 議員

熊谷 隆一 議員

議員 町の災害対応について、大雨洪水災害を例にたずねる。

①災害対策基本法や水防法に基づき避難準備情報、避難勧告、避難指示があるが、各発令基準はあるか。また、住民への伝達マニュアルはあるか。  
②避難区分について、町民に理解されているか。  
③東日本大震災を踏まえ、停電時の暖房確保のため石油ストーブが見直されている。町としても積極

的に、石油ストーブの備えを町民に促すべきでないか。

よる広報、消防団や自主防災組織などを通じた伝達を行うこととしている。

②全戸配布した「美郷町災害ハザードマップ」に掲載し、自主防災組織設立説明会などで啓蒙を図ってきている。  
③各家庭の実情に応じた暖房の備えを、自主防災組織などを通じて啓発していきたい。

町長 ①各発令基準については、地域防災計画と水防計画で定めている。

例えば横手川では、水位2・5mを超えると避難準備情報の発令基準となる。水位4・5mに達しようとする場合は避難勧告の発令基準となり、水位4・5mを超えた場合は避難指示の発令基準になる。発令については、各機関や現場からの情報収集、情報検討と対応判断、その上で情報伝達という一連の流れが整備されている。

住民への伝達は防災行政無線を第一に活用し、状況を踏まえて広報車に

1月に成人式を

議員 町民の一部に1月の成人式を望む声があるが、1月に成人式を行う考えはないか。

教育長 今後も8月15日を基本としていく。



深澤 均 議員



横手川の水位観測所

自然エネルギーの活用を町長「慎重な議論が必要」



太陽光発電システムを導入している北給食センター

議員 福島第一原子力発電所の事故は、原発推進の転換や自然エネルギーの活用など、今後のエネルギー政策を国民的関心事にしている。

また、夏の暑さ対策として緑のカーテン普及についての考えは。

町長 今後の原子力発電については、その安全体制が十分に確立されるものでなければ、その増設など容認できる状況にはないと考える。

一方、地球温暖化を防止しながら現在の生活水準を維持するとした場合、自然エネルギーでその代替をまかなえるのか不明な部分もある。今後のエネルギー政策は専門的な知見のもと慎重な議論が必要なものと認識している。

町の取り組みとして、太陽光については北給食センターで太陽光発電システムを導入しているほか、個人住宅については

助成制度によりその推進に努めている。

緑のカーテン普及については、以前町内の学校施設で実施したことがあり、その際不審者対策上の盲点となる可能性や遮光による照明の点灯、アレルギー性疾患を持つ児童への配慮などの課題があったとうかがっている。

一方、暑さ対策に加えて地球温暖化などの環境教育や理科教育的な観点もあり、今年度、千屋小学校と千畑南小学校の校長室などで試験的に実施する予定で、合わせて役場庁舎南側にも検討している。

防災・福祉のまちづくりを

議員 このたびの東日本大震災から地震・災害に強いまちづくりをすすめていくことが求められている。震災の教訓を今後の防災・福祉の町づくりにどのように生かしていく考えか。

町長 これまで、防災行政無線や防災施設の整備と、生活関連物資や防災資機材の備蓄などを計画的に推進しているが、今回の大震災を踏まえこうした取り組みをさらに加速させていく。

また、被害を最小限に抑えるため、自助、共助、公助の役割分担のもと、地域住民が協力し、お互いに助け合う共助の活動が強化されるよう取り組む。

泉 美和子 議員



# 子供を守る 安全・安心メール システム導入へ

「住民と議会との懇談会」で提案された要望が、その後、まちづくりにどう活かされたのかを追跡レポートします。

3月の定例議会で「安全・安心メールシステム」導入委託料として、81万円の予算を可決しました。

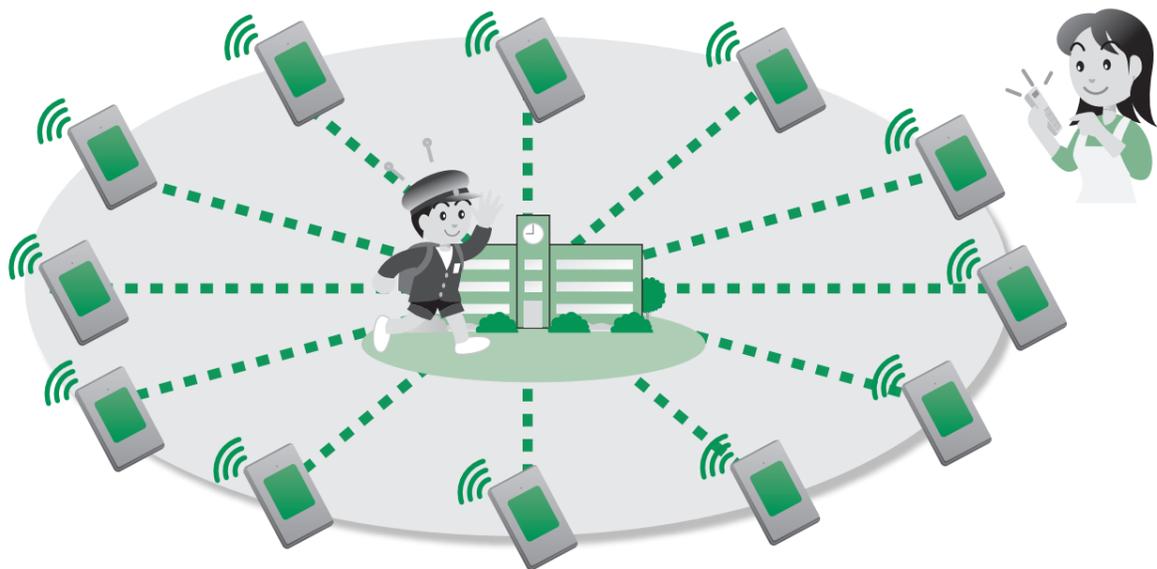
この事業の効果としては、不審者への抑止力と防犯意識の高揚が期待されています。

町の予定では年内にシステムの検討と選定を行い、年度内の運用試験を経て24年度からの運用を目指しています。



平成22年度7月開催の「住民と議会との懇談会」より

**住民** 子供たちを、不審者などから守り、安全で安心な学校生活ができる環境を整備できないか。



熊谷 隆一 議員

## 地震対策は

### 町長「速やかに対応する」

**議員** 美郷町を震源とする東日本大震災の余震が発生する可能性があり、質問する。

**町長** 町では現在、個人住宅の耐震診断と耐震補強工事に助成制度を設けている。また地震に対する

意識喚起を図る目的で先般、美郷町地震防災マップを全戸配布し、推進と啓発に取り組んでいる。専門家の考察については、関係者に機会を見つけて見解をうかがいたい。農地などの被害対策については、災害の規模と状況に応じて関係機関の協議と役割分担のもと、速やかに対応する。

明治29年に発生した陸羽地震については、千屋断層関連の学者や研究者の文献などがあると聞いたが、その記録から考えられることはどのようなことか。また専門家の考察と天然記念物の千屋断層の活用、さらに農地などの被害対策をたずねる。



天然記念物の千屋断層

**港区との交流の考えは**

**議員** 東京都港区の御田小学校と千屋小学校の交流は、今年で35回目を迎える。この小学校間の交流を足掛かりに、港区との交流を拡げ、物販や人的交流につなげて地域の活性化に取り組み考えはないか。

**町長** 現在、町では東京都大田区と平成17年11月に友好都市提携並びに防災協定を締結し、交流事業を総合的に展開している。まずは、大田区との経済交流を定着させること

にエネルギーと予算を優先させることとし、御田小と千屋小の35年に及ぶ絆は充分に大切にしながら、現在のところは物販交流の素地や可能性を实际的に探る段階として、今後の検討課題と考えている。

# 復興支援で職員12人を派遣

5月12日開かれた「東日本大震災に係る被災地派遣職員活動報告会」の内容を報告します。

議会では、4月22日開かれた議員全員協議会で「東日本大震災」の余震が多発する状況を勘案して7月に予定していた今年度の行政視察を中止することにし、併せて、被災地に派遣されている町職員の活動報告会を開くことを決めました。

町では、県の要請を受け、宮城県塩竈市に3月31日から4月30日まで10人の職員を派遣して避難所の運営業務にあたり、また、岩手県釜石保健所に5月5日から10日、同20日から25日までの2回にわた

って2人の保健師を派遣しています。

5月12日、美郷町役場3階大会議室でおこなわれた報告会には、派遣職員を代表して生涯学習課の山形博康さん、総務課の山田健貴さん、福祉保健課の中野晶子さんの3人が活動状況の報告をしました。その中で、中野晶子さんの報告のまとめを抜粋・要約し掲載します。

**中野** 災害時の活動のために、私が普段の保健師活動で大切にしたと思うことをお話しします。

災害時には、要援護者は無論のこと、今健康な状態にある人も被災者となり支援を必要とする状態になります。ま

た、時間が経つほど日常生活に関する問題が大きくなります。そして、被害が大きいほど多くの災害支援チームと関わることになり、いかに情報を整理し、動きやすい体制を整えるかが重要です。そのため、平常時の活動が地域住民に密着しているか、関係機関との連携が築けているかが被災後の住民支援や支援チームとの連携に影響すると思います。

地域の、全ての方の生活に関わる保健師の仕事の中で、最も基本となるのが家庭訪問です。保健師の家庭訪問には、  
①困っている人、支援を求めている人への訪問  
②担当地区へのつながり訪問  
③町の健康課題と結びつけて深く学ぶ訪問  
があります。

この3つの訪問をおこないながら、住民の健康な姿を知ること、家族単位・地域単位での生活の様子を総合的に把握しておくことが、災害時の活動においても重要になると感じました。



運営業務にあたる秋田県支援チーム



## 人事

【人権擁護委員の推薦】

次の方の推薦に同意しました。



戸沢 明人氏 再任 (一丈木)

## みさと議会だより 第27号 クイズ

### ★クイズ回答

【問1】平成23年度一般会計予算は実質〇〇〇億810万円となりました。

【回答】 114

【問2】防災行政無線は全体で〇〇〇基整備します。

【回答】 130

### ◎クイズ当選者

抽選の結果、次の方が当選しました。

- 小林 正敏 様
- 柳原 幸子 様
- 高橋 静江 様

## 第4回 議会臨時会提出議案一覧

承認第2号	専決処分事項の承認を求めることについて	〈全員賛成で原案承認〉
承認第3号	専決処分事項の承認を求めることについて	〈全員賛成で原案承認〉
承認第4号	専決処分事項の承認を求めることについて	〈全員賛成で原案承認〉
承認第5号	専決処分事項の承認を求めることについて	〈全員賛成で原案承認〉
承認第6号	専決処分事項の承認を求めることについて	〈全員賛成で原案承認〉
承認第7号	専決処分事項の承認を求めることについて	〈全員賛成で原案承認〉
議案第37号	美郷町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第38号	美郷町町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第39号	美郷町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第40号	美郷町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	〈賛成14人・反対3人で原案可決〉
議案第41号	美郷町税条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第42号	平成23年度美郷町一般会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第43号	平成23年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉

## 第5回 議会定例会提出議案一覧

議案第44号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〈全員賛成で原案可決〉
議案第45号	財産の処分について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第46号	工事請負契約の締結について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第47号	工事請負契約の締結について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第48号	美郷町雁の里山本公園設置条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第49号	平成23年度美郷町一般会計補正予算第2号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第50号	平成23年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第51号	平成23年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第2号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第52号	平成23年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第53号	平成23年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第54号	財産の取得について	〈全員賛成で原案可決〉

## 議会の動き

4月	5月	6月	7月
15日	12日	7日	30日
議会運営委員会 議会全員協議会 政策等意見交換会 広報特別委員会	第4回議会臨時会 東日本大震災派遣職員活動報告会 政策等意見交換会 広報特別委員会 議会運営委員会	議会運営委員会 第5回議会定例会 (10日)	政策等意見交換会 議会意見交換会 広報特別委員会 議会全員協議会 住民と議会との懇談会(24日) 広報特別委員会 広報特別委員会 秋田県町村議会 秋田県町村議会 議員研修会 秋田県町村議会 大仙市・仙北市・美郷町議会 交流会

# シリーズ キラリ美郷人 vol.23

キラリ美郷人は、学校シリーズ第7回目として仙南東小学校の活動を紹介します。



## 地域に根ざし、 地域とつながる 仙南東小学校



「地域と連携し、地域の教育力を活かした教育活動の展開」が本校の特色である、と思います。十数年にわたり、郷土の仙南や美郷を強く意識した、地域の学習、地域人材の活用、地域産業の体験等に取り組んできています。地域の学習では、地区内の自慢を発見したり、名人に会ったり、

### ? クイズ

問1 「○○○方式」で光ファイバー整備事業を実施

問2 復興支援で職員○○人を派遣

……○に入る言葉や数字などをお答えください。…

応募方法／ はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書きお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に粗品を差し上げます。  
また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先／ 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10  
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日／ 平成23年8月15日（当日消印有効）

●次回定例会は、9月上旬を予定しています。  
傍聴をお待ちしております。

伝統行事である小正月の天筆を作ったりミニどんどこを作ったりしています。また、全校縦割りグループによる地域探検を行っており、今年には六郷地区を探検しました。  
地域産業の柱である農業の体験としては、田植え、サツマイモ、インゲン、枝豆、キュウリ、オモチャカボチャ等たくさん種類の苗植え、秋の稲刈りを行っています。特に5年生は「米作りで見える世界」をテーマに、体験・研究を進めています。  
これらの活動には、地域の方々

校長 吉田 聡

の協力、とりわけ「みさぼーたー」の方々の支援が欠かせません。協力要請をすると、いつも7、10人位が駆けつけてくれ、地域の支援のありがたさを感じています。  
こういう活動を通して、子どもたちには、郷土の良さを再発見し、郷土を愛する心が育まれ、郷土に生きる意欲が喚起されることを願いながら、取り組んでいます。